

宮崎県拠点の
Webサイトは
こちらから



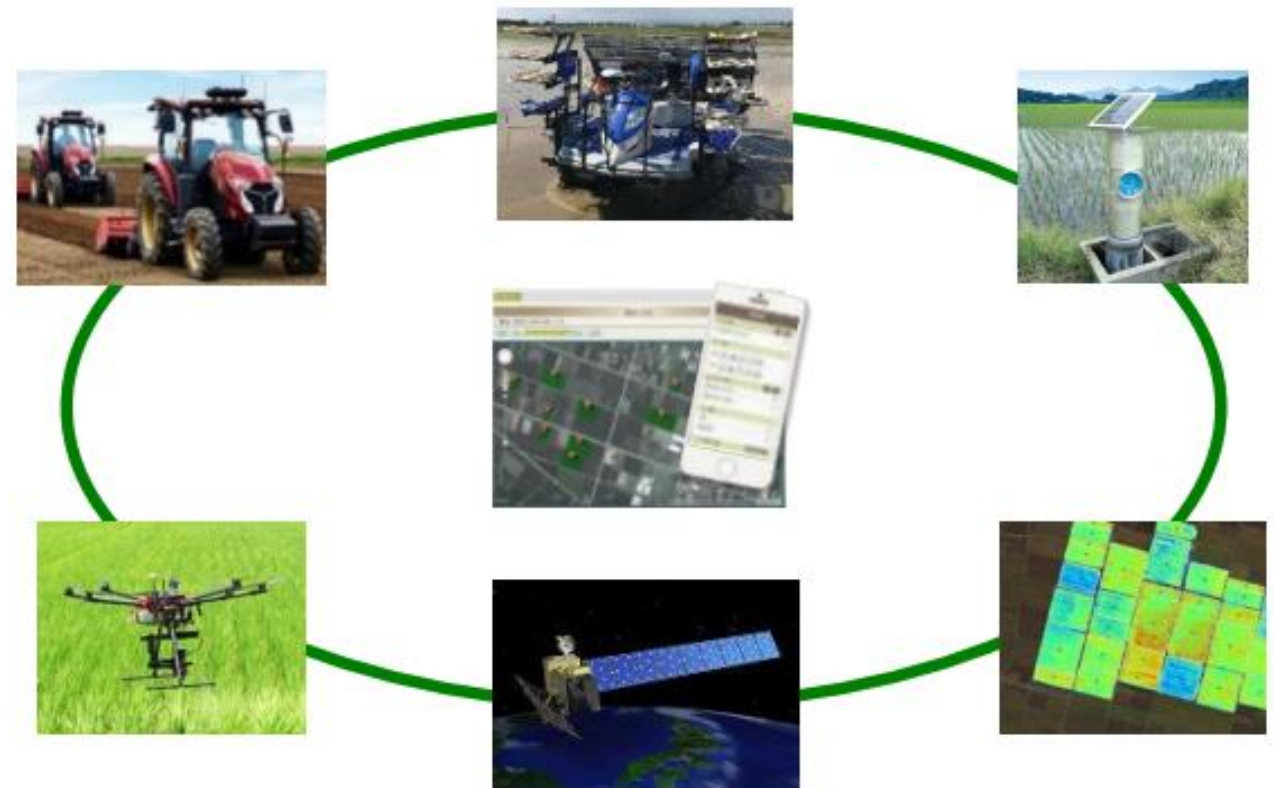
宮崎県拠点だより

「農業」×「先端技術」=「スマート農業」

「スマート農業」とは、「ロボット、AI、IoTなど先端技術を活用する農業」

スマート農業の効果

- ① **作業の自動化**
ロボットトラクタ、スマホで操作する水田の水管理システムなどの活用により、作業を自動化し人手を省くことが可能に
- ② **情報共有の簡易化**
位置情報と連動した経営管理アプリの活用により、作業の記録をデジタル化・自動化し、熟練者でなくても生産活動の主体になることが可能に
- ③ **データの活用**
ドローン・衛星によるセンシングデータや気象データのAI解析により、農作物の生育や病虫害を予測し、高度な農業経営が可能に



IoTとは、インターネットでつながる世界

データ連携基盤

農業データ連携基盤

スマート農業に必要なデータを連携・共有・提供。
※内閣府 戦略的イノベーション創造プログラム（SIP第Ⅰ期）「次世代農林水産業創造技術」において開発。令和元年度から運用を開始。

スマートフードチェーンプラットフォーム

生産から加工・流通・販売・消費に至るデータを連携。
※内閣府 戦略的イノベーション創造プログラム（SIP第Ⅱ期）「スマートバイオ産業・農業基盤技術」において開発。令和5年度から運用を開始。



宮崎県内の 研究開発を紹介します！

AGRIST (アグリスト) 株式会社

地元農家と一緒に開催していた勉強会の中で出た「収穫時の人手不足を解決するロボットが必要だ」という声をもとに、2019年にテクノロジーで農業課題を解決するベンチャー企業として設立。

100年先も続く持続可能な農業の実現に向けて、ピーマンやキュウリの自動収穫ロボットを開発。現在は、実用化に向けて自社農場をはじめ複数の農場による実証実験を行っています。



ピーマン収穫ロボットを説明するアグリスト広報担当の大澤さん
 (主な説明内容)

- ハウス内に張られたワイヤー上をロボットが移動し、AIで収穫適期のピーマンを判定・収穫
- 簡単操作で人の作業負荷の一部をサポート
- ハウス内でロボットが巡回しながらデータを収集



独自に開発したベルト式の収穫ハンドによるピーマンの収穫

各地でセミナーや交流会の開催

串間市に県内農泊関係者が集う!!

11月1日、宮崎県農泊人材育成セミナー（串間エコツーリズム推進協議会主催・みやぎツーリズム協議会共催）が「道の駅くしま」を主会場として開催され、県内各地から多くの農泊実践者や農泊・ツーリズム関係団体が集いました。

（株）地域振興研究所代表 須川氏の基調講演の後、「農泊～現在の取り組みと未来展望」をテーマに農泊の課題や今後の推進に向けて意見交換が行われました。

宮崎県拠点からは、令和5～7年度の農泊推進の目標（農泊推進実行計画）を紹介するとともに、食料・農業・農村基本法の見直し・検証について説明しました。



宮崎県拠点から農泊推進の目標紹介



基調講演



課題提供

西都市で水田担い手ネットワーク交流会!!



交流会風景



宮崎県拠点からの説明

11月14日、第1回西都地区水田担い手ネットワーク交流会が開催され、宮崎県拠点からは、水田営農を巡る情勢や畑地化の推進、農林水産省の令和6年度予算概算要求の事業を説明しました。

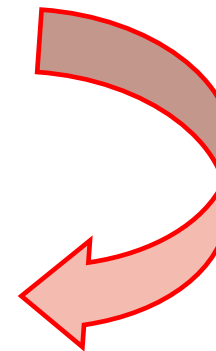
「eMAFFセミナー」を実施しています!!

「農林水産省共通申請サービス」（eMAFF）を推進するため、宮崎県拠点が県内5か所でセミナーを実施しています。



トピックス

農林水産省ホームページに、令和5年度農林水産関係補正予算の概要が掲載されました。



●本紙の記載内容や農政についてのご質問、ご意見等お気軽にお問い合わせ下さい。

●宮崎県拠点 地方参事官室
TEL 0985 - 24 - 2365
〒880-0801 宮崎市老松2丁目3-17

編集後記

朝晩めっきり寒くなり、冬の訪れとともに、焼酎のお湯割りが美味しい季節となりました。

これから年末年始の準備など慌ただしい時期となりますが、体調を崩さないよう温かくしてお過ごしください。

また、降霜などの農作物管理にも十分注意しましょう！（S）

